

## アマダ、人と環境にやさしいサーボベンディングマシン 「EGBシリーズ」の正式受注を開始



サーボベンディングマシン  
「EGB-8025e」



サーボベンディングマシン自動金型装置付き  
「EGB-6020ATCe」

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員:山梨 貴昭)は、新施設「AMADA GLOBAL INNOVATION CENTER (AGIC)」で発表した新商品、人と環境にやさしいサーボベンディングマシン「EGBシリーズ」の正式受注を5月17日より一斉に開始します。

「EGBシリーズ」は高速・高精度の新サーボ方式ベンディングマシンで、単体機仕様、自動金型交換装置付き仕様、自動ロボットシステム仕様とさまざまなニーズに対応しています。新 NC 装置「AMNC 4ie」を搭載し、Easy(誰でもより簡単に)、Efficiency(どこでも効率よく)、Environmental(環境にやさしい)、Evolution(お客さまとともに発展する)の4つの“E”をコンセプトに、誰でもどこでも使える人と環境にやさしいマシンへと進化しています。

ガイダンス機能を備えているため、初心者の方であっても、まるでその場で熟練作業員から指導を受けているように、安心して作業を進めることができ、人材の早期戦力化が望めます。また、新開発のバックゲージシステムや突き当てモニターなどにより、迷わず確実な板金曲げ加工を行うことが可能です。ワークサイズが小さく加工精度が厳しいコンピュータや通信機器などから、ワークサイズが大きく形状が複雑な産業機械のカバー部品や特殊車両部品など、さまざまな業種の加工に対応します。

さらに、「EGBシリーズ」は、環境にやさしいマシンとして新サーボ・ドライブシステムを搭載。これまでのサーボと油圧のハイブリッド方式と比較し、CO<sub>2</sub>排出量を最大20%、オイル使用量を約90%削減し、環境負荷とメンテナンスコストを低減しました。独自開発のモーターにより高加圧と加工タクト向上を両立し、生産性と環境性の改善を図ります。

現在、板金加工業界では人手不足が深刻化しており、技術者の高齢化や次世代オペレータの育成に関する問題に直面しています。また、世界的な環境意識の高まりを受け、カーボンニュートラルへの取り組みも急務となっています。アマダは、最新商品群のマシンとテクノロジーによりお客さまの生産革新を提案し、板金加工業界の課題を解決するとともに、お客さまとこれからのモノづくりを探求し、イノベーションを創造してまいります。

■ 販売価格(税別)

商品名	代表機種 販売価格(税別)	
サーボ ドライブ ベンダー	EGB-8025e (スマートオペレーションモデル)	39,100 千円～
ATC 付き サーボ ドライブ ベンダー	EGB-6020ATCe (スマートオペレーションモデル)	62,100 千円～
電動サーボ小物ベンディング 自動化システム	EGB-6013ARce (モバイルローディング台車モデル)	84,000 千円～
電動サーボ汎用ベンディング 自動化システム	EGB-1303ARse (ロボットローディングモデル)	125,000 千円～

■年間販売目標

EGB シリーズ 年間販売目標 : 約 1,300 台/年

■参考(自動ロボット仕様)

**電動サーボ小物ベンディング自動化システム「EGB-6013ARce」**

- ・ 自動金型交換機能付き小物曲げ加工用ベンディングロボットシステムです。
- ・ 精密板金市場向けに小物ワークの自動化を行い、多品種少量生産にも対応します。



**電動サーボ汎用ベンディング自動化システム「EGB-1303ARse」**

- ・ 自動金型交換装置付き汎用曲げ加工用ベンディングロボットシステムです。
- ・ 幅広い板金市場向けに一般板金から精密板金まで多種多様な製品に対応します。



※本資料中に含まれる写真・イラストにはオプションが含まれる場合があります。  
 ※本資料中の商品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。